

SCSI アレイコントローラカード PG-142E ご使用前に(重要)

このたびは、弊社の SCSI アレイコントローラカードをお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。本書は、本製品に添付されている『SCSI アレイコントローラカード PG-142E(MegaRAID SCSI 320-2)取扱説明書』の記述を補足しております。本製品をご利用になる前に必ずお読みください。

2004年1月
富士通株式会社

1 正誤表

本製品に添付の「SCSI アレイコントローラカード PG-142E ご使用前に」内の記載に誤りがございましたので、ここに謹んでお詫び申し上げますと共に、下記の通り訂正させていただきます。

ページ	誤	正
5 ページ	2.8.2 デバイスの表示画面について 本製品が複数枚搭載されている場合、PG-142E のデバイスを表示(外部記憶装置画面の[デバイスの表示]をクリック)すると、1 枚目の情報が表示されます。「デバイスの表示」画面で、表示させるコントローラを選択してください。	2.8.2 デバイスの表示画面について 本製品に接続されたデバイスの情報を参照する場合は、GAM をご使用ください。ServerView から本製品に接続されたデバイスの表示(外部記憶装置画面の[デバイスの表示]をクリック)は行わないでください。
5 ページ	2.8.4 デバイスの表示について 本製品と PG-144C が搭載され～(略)	(2.8.4 節 削除)

2 留意事項

2.1 ServerView のデバイスの表示画面について

本製品で、2 番目以降のロジカルドライブとして RAID10 を設定しており、ServerView 上で本製品に接続されたデバイスの情報の表示(外部記憶装置画面の[デバイスの表示]をクリック)を行った場合に、ServerView での情報表示が正常動作しなくなることがあります。**ただし、本現象発生時でも ServerView によるイベントログ格納、および、ポップアップメッセージは正常に動作いたします。**

本現象が発生した場合は、以下の対処で表示が正常に戻ります。

Windows 2000 の場合

[スタート]メニューより、[プログラム] → [Fujitsu ServerView Agents] → [Diagnostic Tools] → [Restart ServerView Base Services]を実行してください。ウィンドウが表示されたら、[Restart]ボタンを押して、サービスを再起動してください。サービスの再起動が完了したら、[Exit]ボタンを押して、ウィンドウを閉じてください。

※ 上記手順により、SNMP Service サービスが再起動されます。その際、SNMP Service サービスを利用しているアプリケーションをご使用の場合は、それらのアプリケーションも再起動を行ってください。

Windows 2003 の場合

システムを再起動してください。

Microsoft、Windows、Windows NT、Windows Server は米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

MegaRAID®、Global Array Manager®、WebBIOS は、米国 LSI Logic 社の商標です。

All Rights Reserved, Copyright© FUJITSU LIMITED 2004